

## NPO 法人カタリバ(古野香織さん)が安浦中学校に来校(9月5・6日)

今年度の文化祭テーマを「光輝燦然 ～いましかやれない!全力でいこうぜ」とし、どのような文化祭にしていくのか生徒会執行部で話し合いました。今回は、NPO法人カタリバの古野香織さんも入って話し合いました。



▲古野香織さん

認定NPO法人カタリバとは、「未来を作り出す力を育める社会を目指し、すべての10代が意欲と創造性を手にできる未来を実現させるための活動を支援する団体(やりたいこと・知りたいことに溢れた毎日を、10代が過ごせるように。探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを、学校に仕掛ける)」

こども家庭庁➡呉市子ども課(依頼)

ミッション;身近な社会である学校で「自分たちの社会は、自分たちで作ることができる」という手応えを感じさせること、「自分の意見には価値がある」という実感を持たせるために活動をしています。

➡呉市教育委員会(依頼)➡安浦中学校

<活動を終えて(古野さんから)…>

生徒会のみなさんが非常に素晴らしいチームワークで、たくさんのアイデアを出してくださったので、今後の活動がとても楽しみになる2日間となりました。生徒会として特に思い入れが強かった「文化祭での企画」について、いろいろな視点で一生懸命メリットを考え、またデメリットを減らす方法を考えました。



生徒会担当者は、生徒の思いをひとつひとつ受け止め、真摯に向き合い生徒の成功体験や達成感につなげていきたいと思っています。ぜひこの動きを、学校全体に広げていきたいと思っています。

生徒会執行部は、10月11日の文化祭に向けて企画・運営に頑張ります。まずは、今日の黄色付箋(アイデア)について、改めて検討していきます。



「こどもまんなか」とは、こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、すべてのこどもや若者にとってよいことは何かを考え、健やかな成長につながるように自分ができる積極的なアクションを実践することを言います。